

駅構内における移動者の空間行動計測と分析 *

A Study on Measurement Systems and Basic Patterns of Pedestrian Movement in Railway Stations

北澤桂**・趙 卉菁***・柴崎亮介****

By Kay KITAZAWA**・Huijing ZHAO***・Ryosuke SHIBASAKI

今日の駅空間の利用法は、乗車・降車や乗り換えなどの単なる交通行動だけではなく、待ち合わせや休憩からショッピング、広告・販売活動まで多岐に渡る。また、その利用形態は、朝の通勤ラッシュから夜の酔客の帰宅まで時間と共にダイナミックに変化する。平日・休日の差も大きい。こうした様々な利用形態の展開を、場所（空間特性）別、時間帯別に定量的に把握することができれば、さまざまな利用形態を駅空間の中でうまく共存させることができる。これまで、トリップを単位とした移動者の調査や観察をベースとした駅利用調査はいくつもなされてきたが、駅構内における移動者のミクروسケールの空間行動を実際に計測し、データ化したものは少ない。そこで本研究では、駅の来訪者特性の時間変動を把握し、特徴的な行動パターンの発生可能性について考察すると共に、レーザーセンサにより計測された駅構内における移動行動を、時間的・空間的に解析し、その特性を抽出した。